

## 和泉市 生活環境課

### 『ベランダ d e キューロ』平成28年10月から12月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成26年12月より『ベランダ d e キューロ』を使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

1. 期間：平成28年10月から12月

2. 場所：市役所内（2号館1階にある生活環境課近くの出入口脇）

3. 投入物：市役所内喫茶食堂残渣 約400g

※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など

（ 青魚※2（イワシ、サンマ）、鶏肉、鶏の皮、からあげ、ゆでたまご、ホタテ、昆布、キノコ、ハム、豆腐、しゅうまい、餃子、野菜くず、ごはんくず、麺類、フライドポテト ）

4. 投入回数及び処理量：

毎週火曜日・金曜日の週2回投入

合計 20回投入

処理量 8,370g（20回 × 418g）

5. 土の温度：各月平均温度〔10月 23℃、11月 16℃、12月 15℃〕

6. 分解日数：分解するまで 7日程度

※2：投入時に多少青魚特有の臭いがあります。

#### 7. モニタリング状況：

モニタリング開始以降、経過は順調で、臭いの発生も無く、生ごみの分解も良好でした。外気温、土の温度、物の大きさによって分解速度が変わるため、なるべく細かくしてから投入するほうが良いようです。

10月に入ってから分解速度が夏期に比べて遅くなりました。外気温が夏に比べると顕著に下がり、土の温度も夏期に比べると下がっているためかと考えられます。

なお、サンマやイワシといった魚類をこの時期に投入してみましたが、投入時こそ魚類特有の臭いはあったものの、埋めた後の埋め込みでは、その臭いがまったく気になりませんでした。

#### 8. 投入写真：

平成28年10月28日



投入時の写真です。